

平成 27 年 9 月 4 日

関係各位

ちいさなちいさなお皿のアートな世界
伝統文化の交流プラザ「有田館」秋の企画展
『おてしよ皿展』開催

手塩皿(おてしよ皿)とは、京都・朝廷の食卓で、手元に塩を盛る器として使われたということから名付けられたとされています。

1616年(江戸時代初期)の有田焼創業以来、様々な器が世に送り出されましたが、4寸(約11センチ)ほどの大きさに形や絵付け・装飾など、技術の粋を凝らしたおてしよ皿は、貴族や大名たちに愛されました。

有田でも、江戸時代に数多く作られ、その優れた技術や情緒・センスは、今の時代にも色あせることなく私たちに驚かせます。これを先人に習い、平成24年8月『伊万里・有田焼 手塩皿復刻 collection 創出プロジェクト』が始動し、現代におけるおてしよ皿が生まれました。

今回の「おてしよ皿展～ちいさなちいさなお皿～」では、4社86種のおてしよ皿を展示販売いたします。

食卓のアクセントや日々の暮らしの癒しに、ちいさなちいさなお皿「おてしよ皿」はいかがですか！

□ところ： 伝統文化の交流プラザ「有田館」(有田町幸平1-1-1)

□開催期間： 9月5日(土)～10月12日(月・祝)

□価格： 1,080円～10,800円



【お問い合わせ】

伝統文化の交流プラザ「有田館」

TEL:0955-41-1300

FAX:0955-41-1301 ありたさんぽ <http://www.arita.jp/>